

フィラリア予防薬についてのお願いです！！

投薬は12月分までお忘れなくお願い致します！！

日頃はフィラリア予防にご理解頂き有り難うございます。

オーナー様からこんなご質問を頂きました。大切なことですので敢えて書面にてお応えいたします。

「何で雪の降りそうな12月まで薬を飲ませなければいけないのか？」

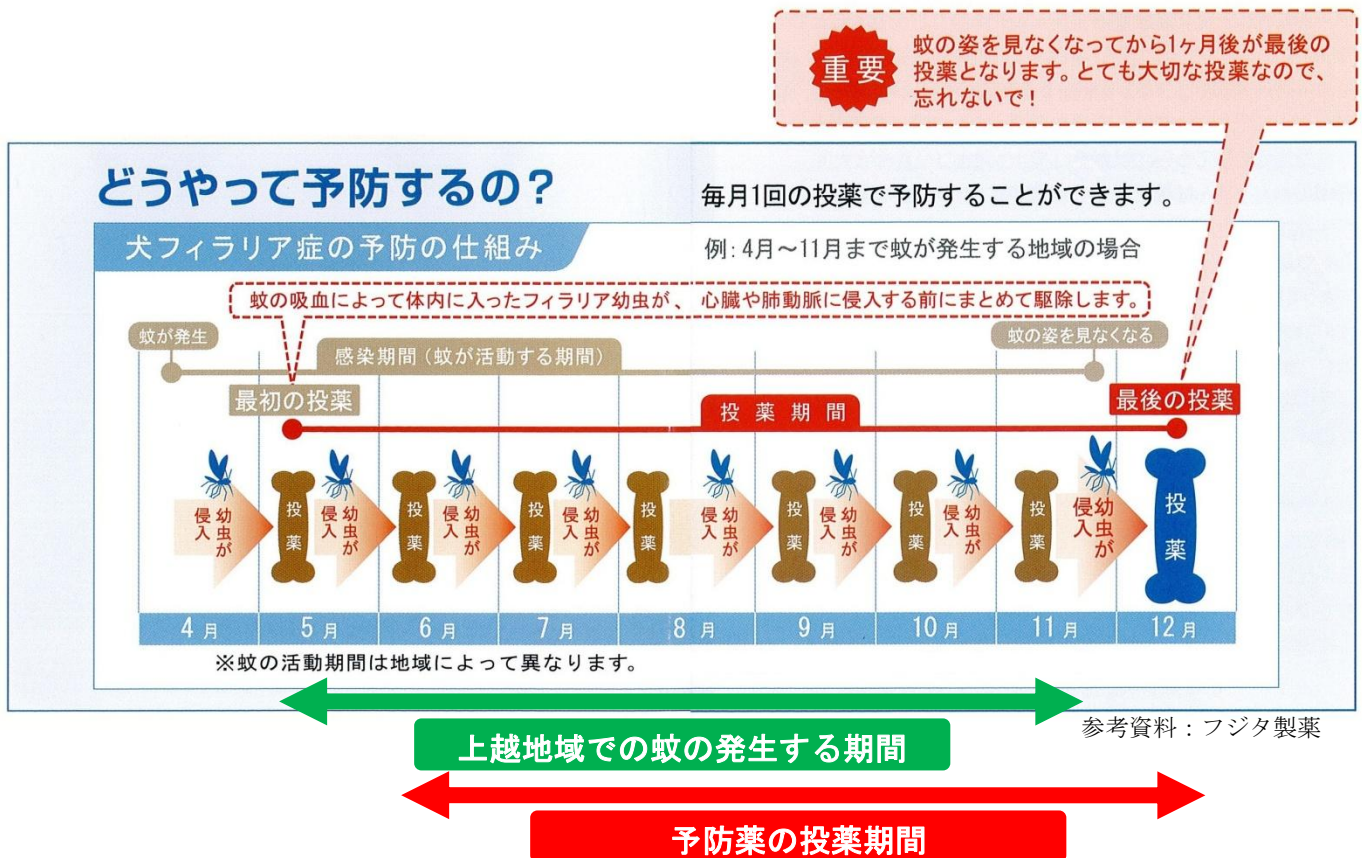
「12月はもう蚊がないんじゃないのか？」

これにはフィラリア予防薬の予防の仕組みに理由があります。

蚊がフィラリア子虫（ミクロフィラリア：以下、子虫）を犬の体内（皮下）に感染させてから、子虫の発育に適した犬の血管（血液）中に侵入するまで約30日必要とします。

したがって投与する予防薬は、厳密に言えば「**1ヶ月前に感染した子虫を血管内で駆除する薬**」ということになります。1ヶ月の時間のズレがあることを忘れてはならないのです。

図で表すとこのようになります（下図）。



動物病院では過剰数のお薬はお渡ししておりません。フィラリア予防薬の予防の仕組みをご理解頂き、是非最後まで使い切って頂きフィラリア症を完全にシャットアウトしましょう！！